

大会名 Competition	第35回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2022 年 5 月 4 日 13 : 10
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB															
開志国際	<table border="1"> <tr><td>34</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>0</td><td>T</td><td></td></tr> </table>	34	1st	15	21	2nd	17	15	3rd	15	17	4th	18	0	T		洛 南
34	1st	15															
21	2nd	17															
15	3rd	15															
17	4th	18															
0	T																
87 ○		65 ●															

主審:Crew chief
久米 克弥 秋田
副審:Umpire
佐藤 良明 秋田
高橋 嘉史 秋田
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
秋田県T0委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	諸星 然		3	1	0	0	0	4		西村 涉		-	-	-	-	0
5	×	武藤 俊太郎	CAP	12	1	4	1	1	5	×	星川 開聖	CAP	21	2	4	7	1
6	✓	境 アリーム		2	0	1	0	1	6	×	三浦 健一		20	2	6	2	4
7	×	介川 アンソニー 翔		22	2	8	0	2	7		津山 優希		-	-	-	-	0
8	✓	日下野 アスカ		8	0	3	2	1	8	×	辻 永遠		4	0	2	0	2
9	×	武内 優空		2	0	1	0	1	9	✓	高市 遥平		2	0	1	0	0
10	×	澤田 竜馬		12	2	3	0	1	10	✓	後藤 亘貴		10	2	2	0	1
11		石森 健慎		-	-	-	-	0	11	✓	片石 光陽		2	0	1	0	0
12		牛尾 温		-	-	-	-	0	12	✓	石田 暖光		0	0	0	0	0
13		堀井 敬太		-	-	-	-	0	13	×	池澤 智史		2	0	1	0	1
14	✓	NNEBUIFE KELVIN OHIEMELIE		2	0	1	0	1	14		井出 巧海		-	-	-	-	0
15	×	BASHIR FAISAL MUHAMMAD		24	0	10	4	2	15	✓	田中 夢大		0	0	0	0	0
16		蕪澤 空都		-	-	-	-	0	16	×	坂倉 昂乃介		4	0	2	0	0
17	✓	フリッシュ ニコラス 聖		0	0	0	0	0	17		中島 悠登		-	-	-	-	0
18		高千穂 海璃		-	-	-	-	0	18		和田 天祐		-	-	-	-	0
コーチ		富樫 英樹						0	コーチ		吉田 裕司						0
Aコーチ		津野 祐樹						0	Aコーチ		河合 祥樹						0
合計				87	6	31	7	10	合計				65	6	19	9	9

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	24	27.59%	BASHIR FAISAL MUHAMMAD
2	22	25.29%	介川 アンソニー 翔
3	12	13.79%	武藤 俊太郎

1	21	32.31%	星川 開聖
2	20	30.77%	三浦 健一
3	10	15.38%	後藤 亘貴

Score ranking[Game]

1	24	BASHIR FAISAL MUHAMMAD	開志国際	2	22	介川 アンソニー 翔	開志国際	3	21	星川 開聖	洛 南
---	----	------------------------	------	---	----	------------	------	---	----	-------	-----

1Q、両チームともにマンツーマンでスタート。開志国際は#15バシールのバスケットカウントで先制する。洛南はハーフセットオフェンスからシュートチャンスを得るが、高さで勝る開志国際の壁に阻まれ得点が出来ない。残り4分、開志国際#7介川のスティールからのダンクシュートが決まり、リードが二桁になったところで洛南はタイムアウト。立て直しを図るが、その後もことごとくりバウンドを決められ点差は開いていく。34-15で1Q終了。

2Q、開志国際#7介川のペネトレイトからの豪快なダンクショットで会場が沸く。早いボール回しからノーマークを作り得点を狙う洛南とドライブを中心にダイナミックなバスケットを見せる開志国際。洛南はフルコートマンツーマンで前線からプレッシャーをかけるがなかなか思うように得点を重ねられない。残り2分半となったところでタイムアウトを取り、バックドアカットを多用して点差を縮めるものの55-32で前半を終える。

3Q、追いつきたい洛南は果敢にドライブを試みるが、開志国際の高さの前にターンオーバーが重なり得点が止まる。流れが傾きかけたように思えたが、洛南もディフェンスリバウンドに絡み得点を許さない。洛南は#6三浦のドライブなどで流れを引き寄せ一時16点差まで詰め寄るものの、アウトサイドシュートがことごとく外れ追撃できない。70-47で3Q終了。

4Q、苦しい局面を打開したい洛南であったが、開志国際#15バシールの高さの前にシュートまで持ち込むことができない。互いに1on1から単発的に得点を重ねるが、洛南はアウトサイドのシュートを決めきることが出来ず、高さで勝る開志国際がリードを広げる。結局87-65で開志国際が全勝を守った。